

学校 教育 目 標	子どもたちが ① 自分の良さを見つけ、可能性を高めていくこと【知・徳】 ② 健やかな体と思いやりの心を育んでいくこと【体・徳】 ③ 共に認め合い、社会性を高めていくこと【公・開】 を大切にします。				
学校 概 要	創立 78 周年	学校長 栗田智則	副校長 橋本英樹・中和 悠	3 学期制	一般学級: 19 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 722 人	主な関係校: 磯子小学校・岡村小学校・滝頭小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	岡村中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
・友だちや周りの人と協力する姿勢 →人間関係構築能力・コミュニケーション力・傾聴力・協調性 ・言葉遣いやきまりの遵守の大切さへの再認識とそれに基づく行動 →規範意識・判断力・決断力・行動力 ・自分の良さや特性、能力の発見とそれを生かした行動 →自己有用感・自己肯定感・自己理解力・生命を大切にする力 ・課題解決のために見通しや予想をもって粘り強く取り組む力 →想像力・表現力・伝達力・忍耐力・回復力(レジリエンス)	岡村中学校 磯子小学校 岡村小学校 滝頭小学校	コミュニケーション能力の向上を通して、自分自身を大事にする気持ちや相手思いやる気持ちのある子。友だちや地域の人たちと積極的な関わりを通して、主体的にめあてや問題解決に粘り強く取り組む子。 ・職業インタビュー、職場体験、福祉体験の実施 ・よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト、人権作文の実施 ・地域交流体験学習、地域清掃、普通救命講習の実施

中期 取 組 目 標	○教職員全員が学校経営に主体的に参加し、魅力ある活力のあふれる学校づくりに努める。 ○生徒一人ひとりの思いや家庭環境を大切に、心の通いあう指導・支援態勢づくりに努める。 ○教職員の授業力・指導力を高め、市学力学習状況調査のデータを参考にして学力(基礎・基本)向上に努める。 ○家庭・地域・関係機関との関係をより深化させ、地域の学校として特色ある学校づくりに努める。
------------------------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①学習意欲を向上させるために、学習形態(T.T授業等の指導法)や、教材・教具(ICT端末の効果的な利用)を工夫する。 ②学習意欲を高めるため、授業で身につけるべき力、目標を生徒に理解させ、学習の習得状況に応じた評価を充実させる。 ③既習内容を振り返る場面を多く取り入れ、基礎基本の習得に努める。 ④3観点を見据えた学習計画を作成し、評価の正当性を考える。
徳 人権教育	①相手の立場を尊重し協力する大切さを学び、差別や偏見をなくすことについて考えさせる。 ②お互いの個性を認め合い、共感性をもちながら、共に学び合い、高め合うことについて考えさせる。 ③社会の不合理、矛盾、差別の解決に向けて、考えていく習慣と正しい判断力について考えさせる。 ④人権週間に、事前に生徒が主体的に考えた人権宣言を発表・掲示し、全校で人権について考える機会を設ける。
体 健康教育	①学校保健委員会において、子どもの思いをくみ取り分かった学校の健康課題について、ICTを活用した研究発表をする。 ②保健体育科では、幅広く学習することで知識や技能を身につけ、健康・安全に気をつけて運動を実践できるようにする。また、発展的な知識や技能を身につけ、健康・安全を確保して生涯にわたって運動に親しむことができるようにする。
公 自分づくり教育 (キャリア教育)	①仕事の内容や生きがい、仕事に就くための必要な事柄について考えさせる。 ②生徒自身が興味を持った職業についての情報を主体的に集めて、「働く」ことの意義を再確認させる。 ③自己の特性を知り、自分の生き方や職業選択について深く考えさせる。
いじめへの対応	①いじめに関するアンケートを行い、見えないいじめの発見と共に、生徒へのいじめ防止の大切さを実感させる。 ②年度初めの研修による共通理解、毎日の健康観察(スタナビの活用)と毎朝の学年連絡会を通して、学年関係なく生徒の小さな異変の情報を共有し、いじめの未然防止に役立てる。 ③認知した事案を全職員で共有し、組織で解消に向けて取り組む。
人材育成・ 組織運営(働き方)	①教職員一人ひとりの適正を把握し、学校運営組織に配置する。また、主幹教諭を中心に指導助言を行い人材の育成を図る。 ②教職員が生徒・保護者・地域から信頼されるために、校内研修の充実を図り、地域の学校である自覚を高める。 ③働き方改革の視点から、校務DXの資料(2025)や横浜市立学校部活動ガイドラインを研修の材料とし、ICTを活用しながら事務の効率化や情報の共有化をすすめる。
地域学校協働活動	①学校運営協議会「白梅会」のさらなる充実をめざす。 ②地域ボランティア参加を積極的に促し、参加生徒の思いを次の行事に生かすことで、地域社会との交流をさらに深める。 ③「子どもの幸せを実現する会」と協力した朝のあいさつ運動や定期テスト前の学び場を実施する。
生徒指導	①すべての学年における家庭訪問を年度当初に実施し、家庭との連携を緊密に行う。 ②夏休み・冬休み前の三者面談、後の教育相談を通して生徒との状況を把握し対応する。 ③日常の学校生活の中で細かく声掛けをし、職員間で情報を交換することにより、問題を抱える生徒を早期に発見し全員で対処する。
担当	生徒指導担当